

甲府市廃棄物減量等推進審議会 令和4年度第2回審議会議事録

令和4年12月21日(水) 午前10時～

甲府市中道公民館 大会議室

出席者

(委員)

委員13名中10人出席 3名欠席

(事務局)

環境部長、環境総室長、環境対策室長、環境保全課長、ごみ減量課長
総務課長補佐、ごみ減量係長、ごみ減量係主事

(傍聴者)

なし

次第

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 議事
 - (1) 減量目標の検証について
 - (2) 新たにごみ減量施策について
- 4 閉会

議事要旨

(1) 減量目標の検証について

【事務局】

—減量目標の検証についての説明—

【委員】

ごみには生活系ごみと事業系ごみの2種類があり、集積所に排出されたごみの中に事業系のごみが混ざっているのではないかと懸念しています。

指定ごみ袋に入れば、生活系ごみとして収集されてしまいますので、事業系ごみについて適切な処理をしてくださいと厳しく指導していけば、ごみの排出量が減るのではないかと考えております。

また、ミックスペーパーの分別排出の強化について、ダンボールを細かくしたものや雑誌、新聞などもミックスペーパーとして排出されており、より一層分別指導をしなければいいのではないかと思います。

【事務局】

少しずつですが、甲府市内の事業所を訪問しまして、適正な排出のお願いをしており、今後も周知徹底を図っていきたいと考えております。

また、ミックスペーパーの分別排出については、出せるものが分かりづらい部分もありますので、ごみへらし隊の出前講座や、メディアを通して周知徹底を図って参ります。

【委員】

ミックスペーパー専用袋があれば、専用袋にミックスペーパーとして出せるものを表示することで周知が出来るので、ごみの減量化に繋がるのではないかと思います。

【事務局】

以前、ミックスペーパー専用紙袋を配布した経過があり、検証結果を鑑みて、よりよい方法を考えていきたいと思っております。

【委員】

1人1日当たりの生活系可燃ごみの排出量について、資料には約500gとなっておりますが、他の自治体と比較すると多いのかをお聞きします。

また、平成30年度に衛生センターの堆肥化材料が製造中止となって以降、休止状態になっていますが、民間企業に落葉を売却して堆肥化すればいいのではないかと思います。

【事務局】

甲府・峡東クリーンセンターに搬入している他の3市と比較しますと、令和2年度実績で笛吹市が392g、甲州市が564g、山梨市が579gとなっており、笛吹市の排出量が少ない理由として、ごみ袋の有料化を行っていたからだと考えられます。

また、落葉を民間企業に売却出来たらとの事ですが、今後検討していく必要がありますので、貴重な意見として承ります。

【委員】

各施策における目標値と実績値の差について、今後なんらかの努力をすれば差が埋まるものなのか、それともこの差が限界値なのかを教えてくださいと思います。

【事務局】

家庭から出る可燃ごみのうち、生ごみが40%を占めており、生ごみが無くなると40%削減することが出来ますので、効果的な施策をすることによって、減量することは出来ると思います。

【委員】

生活系可燃ごみ削減について、ごみ袋を有料化して削減するのではなく、生ごみの水きりなど手軽にできることを積み重ねることが大事だと思います。

【委員】

生活系可燃ごみ削減には、市民の協力が必要で、協力していただけるには、どうしたらいいかなどの根本的な部分から考え直すべきではないかと思います。

加えて、1人1日当たりの生活系可燃ごみ排出量について、乳児や高齢者を考慮して算出すればより正確な1人1日当たりの生活系可燃ごみの排出量が得るのではないかと思います。

【事務局】

1人1日当たりの生活系可燃ごみ排出量の算出について他都市と比較するために、総人口を使用しております。

【委員】

しんぶんコンポストは、分解までに時間がかかり、毎日のように出る生ごみをすべて処理することは難しく、効果に疑問があります。

小さなことの積み重ねは大事だと思いますが、しんぶんコンポストの取組ではなく、別の視点から考えることも大事ではないかと思います。

【事務局】

生ごみの排出抑制については、しんぶんコンポスト以外にもキエーロや EM ボカシの配布、生ごみ処理機器の購入補助金制度もありますので、ご自身に合ったやり方で実践していただけたらと思います。

(2) 新たなごみ減量施策について

【事務局】

6項目の新たなごみ減量施策について、意見をいただければと思います。

①小中学校を対象にした啓発活動

【委員】

小中学校を対象とした啓発活動ということで、小さいお子様から継続して行なっていくことは大切だと思います。

その中で既存のプログラムで、キッズISOやこどもエコクラブという組織がありますので、既存のプログラムをうまく活用しながら、啓発していくことも良いと思います。現在の活動を上手に利用しながら周知していただければと思います。

【委員】

調理実習の時に生ごみの水切り体験を行ったり、生ごみ処理機器を設置して使用してもらったりすることも啓発になると思います。

【事務局】

生ごみ処理器キエーロを令和3年度に小学校や中学校へ配布を試みましたが、衛生面等から配布には至りませんでした。継続的に周知して参ります。

【委員】

コンポストを使っていますが、ごみになる前の野菜くずを使用してみるのも良いと思います。

【委員】

甲府・峡東クリーンセンターでは、子供たちへの環境教育に見やすい資料を作成しているので、ぜひ活用してほしいと思います。

【委員】

中道北小学校へ設置している、バイオ式生ごみ処理機はどのように活用していますか。

【事務局】

平成29年度の食品ロス削減対策のモデルとして設置しました。

今現在は休止状態となっていますが、子どもたちに見える化を図りながら啓発することは大事だと考えております。

②市民への環境教育の推進

【会長】

事業者は、自治会の集積所に出すのではなく自分の責任でごみの処理をすることや市民の方もリサイクルできるものは分別するということを徹底することがまず大事だと

思います。

自治会から要望があってから出前講座を行うのではなく、持ち回りにすることで、全体に周知が図れると思います。

【委員】

市民の中に在留外国人や学生等の方々も、対象として進めていただきたいと思います。
また、アパートを管理する事業所への周知・啓発も必要になると思います。

【事務局】

指定ごみ袋への外国語の表記や、分別冊子「ごみの分け方・出し方」も8か国語用意していますので、活用していただきたいと思います。

ごみ分別アプリの外国語対応など、様々な観点からアプローチしていきたいと考えております。

【委員】

アパートに住んでいる人は、県外から引っ越しをしてくる人が多いので、アパート契約時にゴミの出し方をしっかり伝えるなどの仕組みづくりも検討した方が良いと思います。

【事務局】

アパートの適正排出については、近隣の自治会等から情報を寄せていただきまして、職員が、まずそのアパートの状況を把握させていただいて、その後、管理をしている会社や大家さんに対して、適正に排出するよう指導をさせていただいております。

指導した後に再度現状を確認させていただくという対応をしております。

【委員】

イベント等で周知を図ることも大切かと思えます。

③食品ロスの推進

【委員】

先日食料品店へ行ったところ、市からのお願いということで、品物を2割引で販売していましたが、これも食品ロス削減と関係ありますか。

【事務局】

甲府タバスケの関係だと思われそうです。

【委員】

協力している事業者の店舗へポスター等貼って周知すると良いと思います。

【委員】

消費期限と賞味期限の違いが分かりにくいので、周知したら良いと思います。

④店舗の資源物回収の支援

【委員】

支援については、補助金を交付して行いますか。

【事務局】

補助金を交付するイメージではなく、市ホームページで店頭回収を行っているお店を紹介するようなイメージで考えています。

【会長】

市が店舗の資源物回収について市民に情報発信することで、資源物、有価物回収以外の排出方法を周知することが出来て、ペットボトルなど可燃ごみとして排出される量が少なくなると思います。

⑤生ごみ削減の取組

【委員】

生ごみを絞ることが大変なので、その対策をしなければならないということと、生ごみを出さないという対策が必要だと思います。

食べられる量だけ作る、食べられる量だけ買う、という食品ロスの取り組みにつなげていけば、生ごみの削減になると思います。

【委員】

しんぶんコンポストについて、ごみ処理で良い肥料ができますとアピールしていけば、農業に興味のある人には響くと思うので、甲府市農業センターと連携して、農業に興味ある人へ訴えかけることも一つの手かだと思います。

【会長】

確かにごみを減らす部分だけだと、なかなか取り組んでもらえないですが、こんなメリットがあることを、強調していくと良いと思います。

【委員】

しんぶんコンポストを実際に使ってみて、分解されにくい生ごみや、分解しない生ごみがあり、難しいと感じました。

また、集合住宅にお住まいの方や家庭菜園をやられていない方は肥料として使うところがなく、処理に困ると思うので、ポイントを絞って周知したらいいなと思います。

【事務局】

生ごみ削減の取組として、ごみへらし隊の出前講座でキエーロを紹介しています。

キエーロは堆肥化を目的としていませんが、プランターに黒土を入れて、生ごみが無くなるもので、キエーロの講座を行い、希望者に配布しています。

さまざまなニーズに合わせてしんぶんコンポストやEMボカシ、キエーロを使っているだけで良いと思っています。

⑥メディア活用による啓発活動

【委員】

コンテンツが大事で、他の人に伝えたいという気持ちがある人に発信してもらうのが良いと思います。

【委員】

適正処理という文言を加えた方がいいのではないかなと思います。

【会長】

ホームページのように、見ようとする意志がないと目に入らない発信方法よりも、病院の待合室にあるモニターのように、自然と見てしまうような発信方法がいいのではないかと思います。

以 上